

令和2年度 第1回名寄市中小企業振興審議会検討部会会議録（要旨）

開催日 令和2年7月28日（火曜日）

開催場所 名寄市役所 名寄庁舎 4階大会議室

出席委員

審議会委員	会長	藤田健慈
	副会長	堀江英一
	委員	今井利憲
	委員	今野聖士（検討部会長）
	委員	中舘孝彰
	委員	萬谷千絵
特別委員	委員	山本和則
	委員	須藤民篤
	委員	鎌塚英明
	委員	和田英則

欠席委員 委員 木賀義友

名寄市	加藤	名寄市長
	臼田	経済部長
	田畑	産業振興室長
	佐藤	産業振興課主幹
	山本	産業振興課主事
	高儀	産業振興課主事

1 開会 15時00分

2 挨拶

【加藤市長】

お忙しい中、お集まりいただき感謝する。新型コロナウイルス感染症により地域経済が大変な状況である中で、感染症の対策にも留意しつつ基本計画の策定のための協議にお力添えいただきたい。名寄市の事業所のほとんどが中小企業であり、名寄市の持続的なまちづくりをしていくなかで、中小企業の振興・発展は不可欠である。中小企業、行政、会議所等それぞれが役割を認識し努力していく、その指針となる計画を策定いただく。先が見えない環境の中ではあるが、根本的な部分を見直す良いチャンスであると思うので、ぜひ忌憚のないご意見をいただき、名寄市のこれからのさらなる持続化可能なまちづくりに寄与する計画策定にお力添えいただきたい。

【藤田会長】

お忙しい中、お集まりいただき感謝する。中小企業振興審議会はさまざま施策を行政とともにつくりあげてきた。名寄がどこへ向かっていくのか、広く浅くではなく、方向性を意識しつつ深く、太く活動できるような施策が必要であると商工会議所を中心に基本計画の策定をお願いしてきたところである。企業の在り方やスタンスが変わってくるコロナ時代の中で、どういう施策をつくっていけば名寄の発展に繋がっていくのか、皆さんの知恵をかりて、新たな挑戦をしていきたいと思う。

3 委嘱状交付

加藤市長より山本委員・須藤委員・鎌塚委員・和田委員へ委嘱状の交付

4 部会長選出・挨拶

事務局より部会長選出について審議会検討部会へ意見を聴取

-----意見なし-----

事務局より今野委員を部会長に選出する案を提示

-----意義なし-----

今野部会長より一言

活発な議論をしていただいて、より良い基本計画を策定できるようご協力いただければと思う。

5 協議事項

協議事項（１）、（２）について事務局より説明

【今野部会長】

事務局の説明に対して意見・質問はあるか

【中舘委員】

中小企業振興条例と中小企業振興基本条例の違いとは何か

【事務局】

この度、策定するのは中小企業振興基本計画である。平成 27 年度の基本条例策定議論時は最終段階での市の法制担当との協議の結果、基本条例とするには範囲が狭すぎる等の理由から「基本条例」を策定するのではなく「振興条例」の一部改正で対応することとされた。今回は振興条例の中に位置づけるかたちで基本計画を策定する。

【藤田会長】

前回の議論時は基本条例にはできないということで終わってしまった。条例に基づいて外付けで基本計画を策定することはできるということだったので、アフターコロナを見据えつつ基本計画の内容をしっかりと検討していかなければならない。

【事務局】

本来であれば、基本条例があるのが望ましいのかもしれないが、本市における「基本条例」の考え方においては現時点で中小企業に関する「基本条例」を策定するのは難しいことから、「基本条例」策定までのステップとして、振興条例に基づいた基本計画を策定し、基本計画に基づいて具体的な施策についても改めて検討させていただきたい。

-----その他意見なし-----

協議事項（3）について事務局より説明

-----意見なし-----

6 その他

-----報告事項・意見等なし-----

7 閉会

閉会の挨拶

【堀江副会長】

大変お暑い中、お集まりいただき、また特別委員として4名の方に新たにご協力いただいたことに感謝する。これから2回、3回と議論を重ねるなかで、市民に喜ばれるようなご意見をいただきたいと思う。コロナの関係で名寄市としても大きな予算を使って支援メニューを用意していただいたことで風連商工会にも多くの問い合わせがある。時限立法ではあるが、広く市民の皆さんに周知し、有意義に活用していただいて一つの脱落者もないように頑張っていきたいと思う。